

赤潮警報続報 (シャトネラ アンティーカー)

鹿児島県水産技術開発センター
平成21年7月31日

八代海 赤潮警報続報 No.1

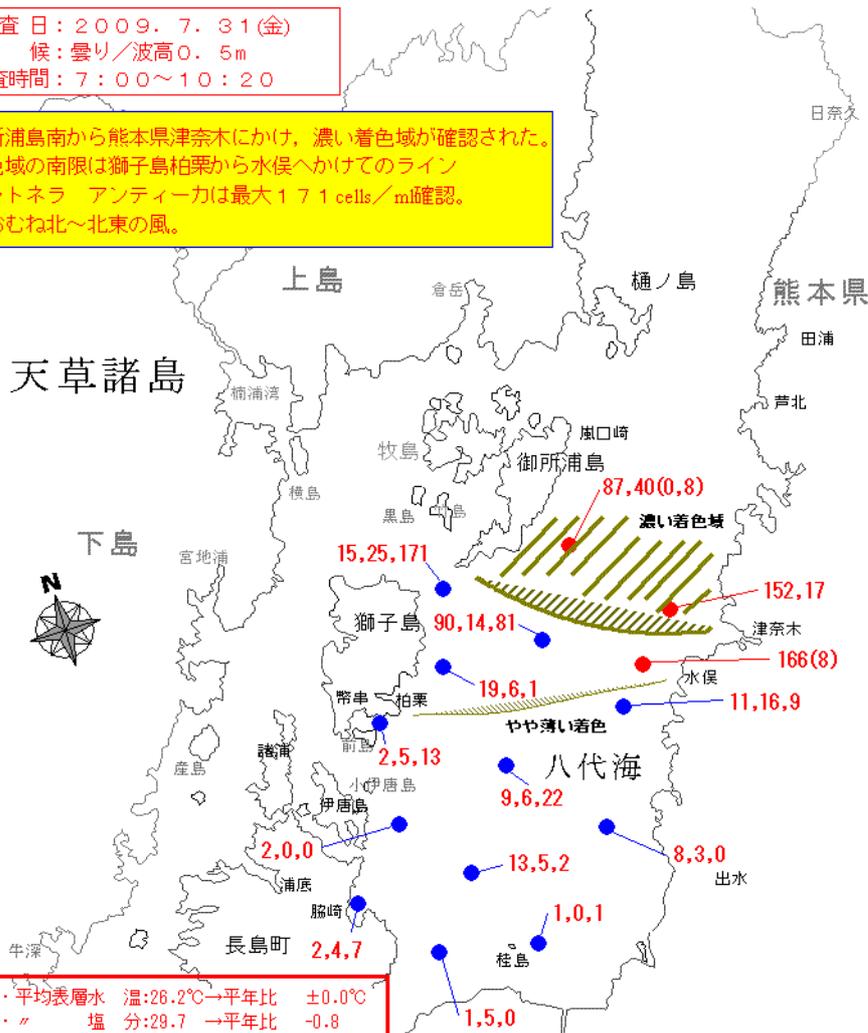
[1]7月28日の調査結果

本日午前調査した結果、シャトネラ属(アンティーカー及びマリーナを含む)が最大171 cells/ml確認しました。御所浦島南から熊本県津奈木町にかけ、濃い着色域が確認されました。やや薄い着色域の南限は、獅子島柏栗から熊本県水俣市にかけてのラインでした。

【鹿児島県水技センター，東町漁協調査】(赤潮警報発令中)

調査日: 2009. 7. 31(金)
天候: 曇り/波高0.5m
調査時間: 7:00~10:20

御所浦島南から熊本県津奈木にかけ、濃い着色域が確認された。
着色域の南限は獅子島柏栗から水俣へかけてのライン
シャトネラ アンティーカーは最大171 cells/ml確認。
おおむね北～北東の風。



平均表層水 温: 26.2°C → 平年比 ±0.0°C
塩分: 29.7 → 平年比 -0.8
D O: 7.5mg/l → 平年比 +0.1mg/l
透明度: 5.7m → 平年比 -2.5m
※平年: H15~H20の7月の平均値

赤字はシャトネラ アンティーカーの表層, 5m層, 10m層
()内はコクテニウム表層の細胞数 (cells/ml)

鹿児島県

[2] 今後の赤潮発生の予想

本日午後の東町漁協による調査でも、シャトネラ属による着色域はほぼ同じ海域に見られていますが、風向や潮流によっては、着色域が南下する可能性がありますので、厳重な警戒が必要です。またシャトネラ属の細胞数は50 cells/ml以上確認された調査点は少ないですが、競合する珪藻類が少ない状況であり、今後の海況、天候次第では、細胞数の増加が懸念されます。

シャトネラ アンティーカーは着色しないような細胞数(30~50 cells/ml)でも、養殖魚類のへい死事例がありますので、検鏡による細胞数の動向を把握するとともに、餌止めなどの対策が必要です。

赤潮情報(携帯用): <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮図鑑(パソコン用): <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/HTML/index.shtml>